

## 3-2 類型別の現状

### (1) 庁舎等

#### 1) 庁舎等

##### ① 概要

本市には、市の行政事務を行う庁舎が4か所と出張所が1か所あります。

市役所は、市政全般にかかる政策、施策についての総合的な調整・管理事務を行うとともに、日常的に多くの市民が利用する行政サービス窓口としての中心的な機能を担っています。また、議会等の機能や、災害時における防災拠点としての機能を有しています。

本市唯一の出張所である北辰出張所では、住民票の写しの交付や印鑑登録申請などの市民課関係窓口業務のほか、市・府民税証明等の税証明窓口業務を行っています。

市役所本館は、昭和43年(1968年)の建築後、昭和49年(1974年)と昭和61年(1986年)に増築され、平成9年(1997年)には南館が建築されました。南館を含む延床面積は約3万㎡となっており、市が保有する公共施設の中でも環境衛生センター(約4万1千㎡)に次ぐ大規模施設となっています。

令和7年(2025年)末現在、市役所本館の第一期棟では築57年、合同庁舎では築52年が経過しています。

表 3-2-1 庁舎等の概要

No.	施設名	所在地	複合区分	運営形態	延床面積(㎡)	主要な建物の情報(R7年末現在)			
						主な建築年	経過年数	構造・階数	耐震性
庁舎									
1	市役所	駅前三丁目8番13号	複合	直営	30,104	S43	57	SRC・8	○
2	合同庁舎	東中条町2番13号	複合	直営	4,056	S48	52	RC・7	○
3	上中条分室	上中条二丁目12番28号	複合	直営	1,364	S58	42	S・3	○
4	市役所西分室	駅前三丁目370番13号	単独	直営	87	S47	53	S・3	○
出張所									
1	北辰出張所	大字泉原332番地の3	複合	直営	151	S60	40	RC・2	○

※市役所は建築年が古い庁舎棟について記載



茨木市役所



北辰出張所



### ③ 利用の状況

市の正職員数の推移をみると、平成 25 年度（2013 年度）までは減少の一途をたどっていましたが、その後は、業務量の増加や多様化、複雑化する市民ニーズに対応するため増加傾向にあり、令和 6 年度（2024 年度）には 1,788 人となっています。

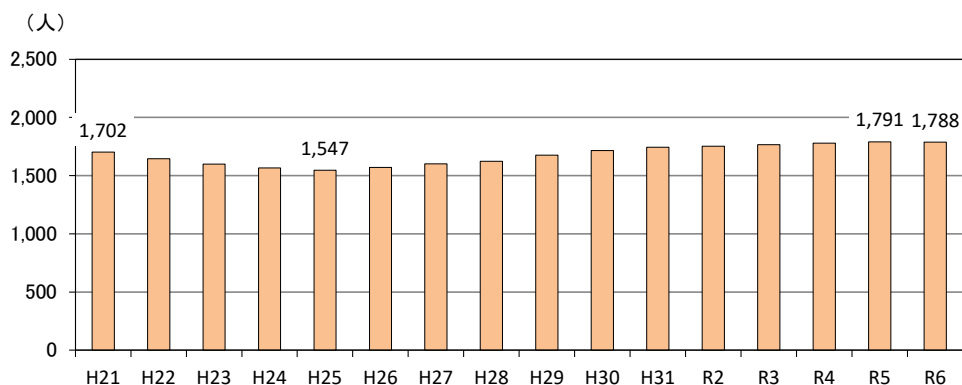


図 3-2-2 正職員数の推移（各年 4 月 1 日現在）

人口千人あたりの正職員数について北摂 7 市で比較すると、本市の職員数は一般行政部門、普通会計部門、全部門の全てで、最も少なくなっています。

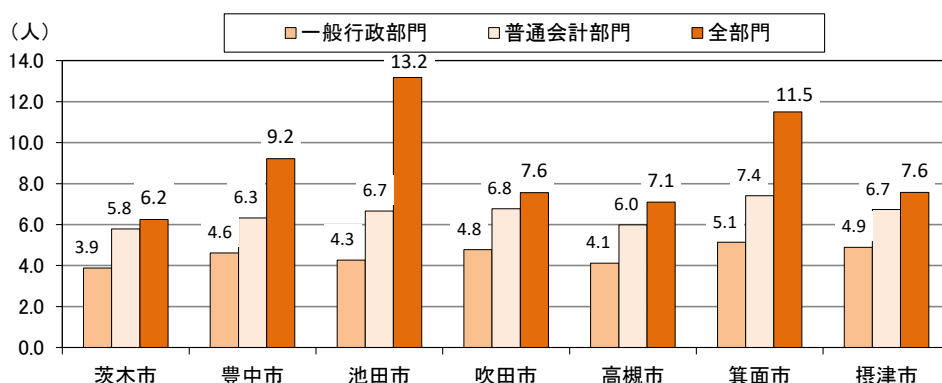


図 3-2-3 北摂 7 市の人口千人あたり職員数（令和 6 年度（2024 年度）4 月 1 日現在）

住民票の写しの交付や印鑑証明などの市民課関係窓口受付件数の推移をみると、市役所では、コンビニ交付や証明書自動交付機のサービス開始等により減少傾向にあり、令和 6 年度（2024 年度）には約 20 万件となっています。

北辰出張所における窓口受付件数は、近年はおおむね 1,300 件～1,500 件で推移しており、令和 6 年度（2024 年度）には 1,397 件となっています。

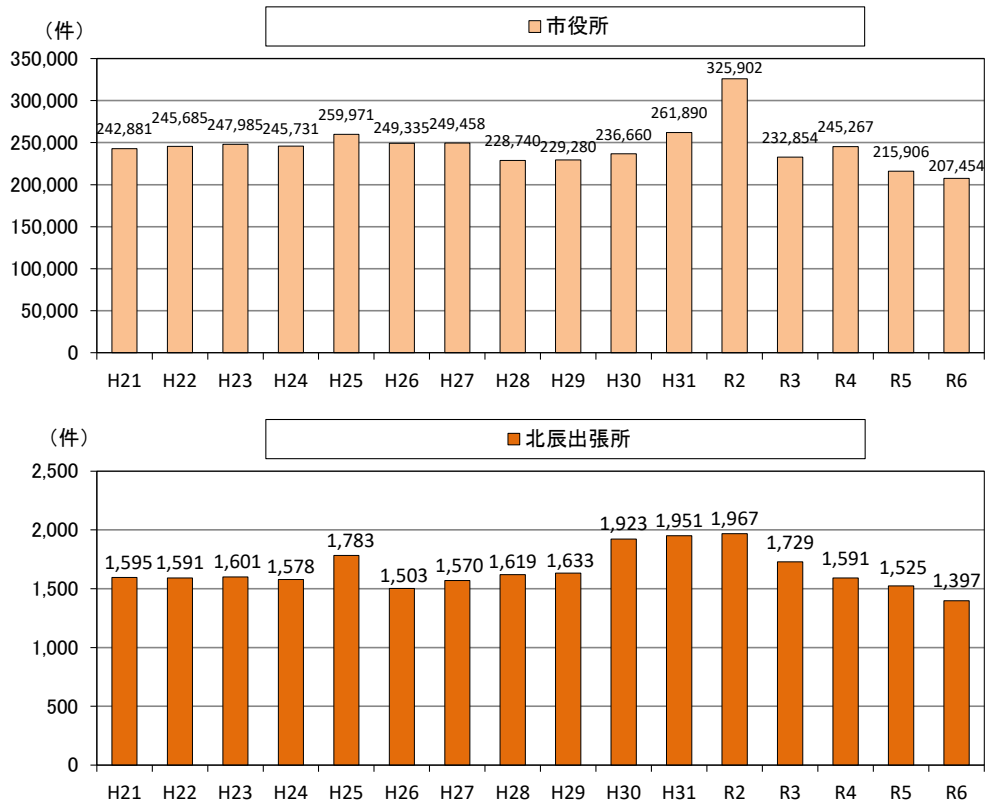


図 3-2-4 市民課関係窓口受付件数の推移

#### ④ 施設に関する総コストの状況

令和6年度(2024年度)の施設に関する総コスト(庁舎等は事業運営にかかるコストを除く)をみると、市役所で約4億5千万円となっています。

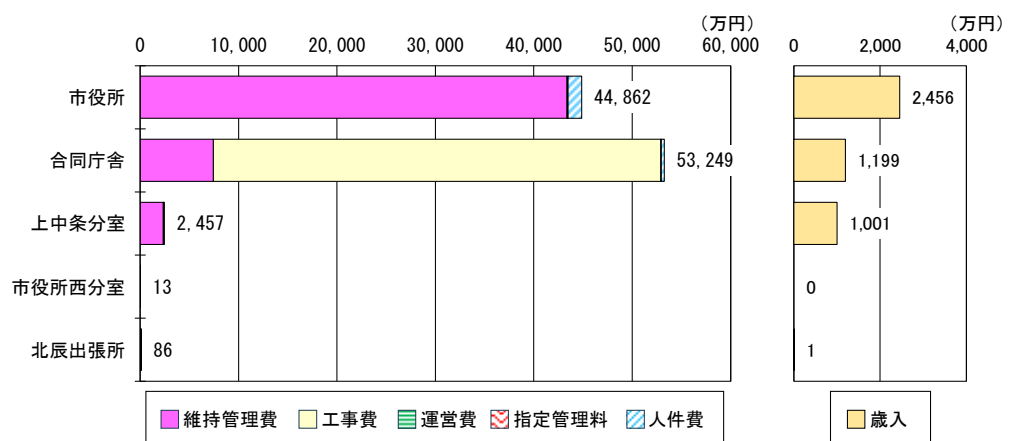


図 3-2-5 施設に関する費用と内訳 (令和6年度 (2024年度))

## ⑤ 単位あたりの市負担コストの状況

単位あたりの市負担コスト（工事費に係る歳入歳出を除く）について、延床面積1㎡あたりで比較すると、合同庁舎で約1万6千円と最も高く、次いで市役所の約1万4千円となっています。

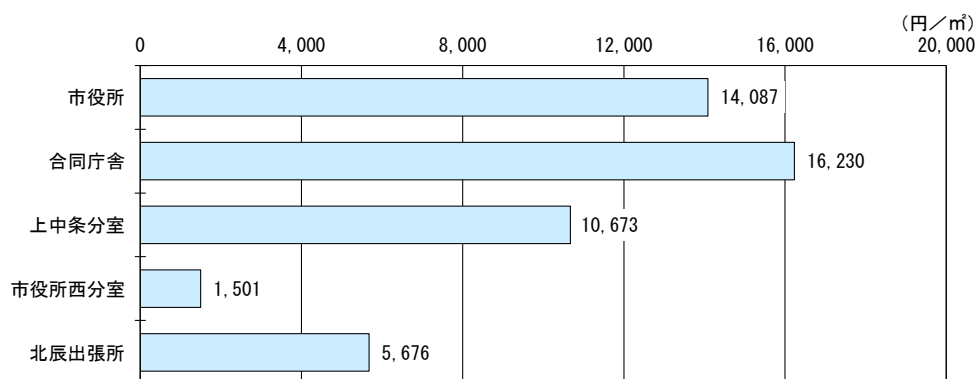


図 3-2-6 延床面積1㎡あたりの市負担コスト（令和6年度（2024年度））